

# 新たな技術で明日を拓く

## テクニカルショー ヨコハマ2010

神奈川県最大の工業技術・製品に関する総合見本市「テクニカルショーヨコハマ2010(第31回工業技術見本市)」が今月三日から五日までの三日間、横浜・MM(みなとみらい)地区のバシフィコ横浜・展示ホールで開催された。今回は「新たな技術で明日を拓く」をテーマに、サービスロボットゾーンでの「セグウェイ体験試乗会」の特別企画をはじめ「ビジネスソリューション」、「生産」、「生活・環境」、「異業種交流グループ連携」の各分野から素材、部品、研究開発、製造からエネルギー、環境問題までの独創性と先進性に富んだ付加価値の高い最新の技術、製品情報サービス展示、広範囲に展開された。

特別企画のサービスロボットゾーンでは、多くの来場者がボットゾーンでは、充電試乗していた。同企画に式立ち乗り電動二輪車・協力したJAM3井リースセグウェイの体験乗車もでは、セグウェイのリー

スのほか、中古機の販売も行っている。生産分野では、栃木県佐野市の三福工業がフッ素ゴム発泡体の「ミツフクフォーム」、FKM発泡体の両面を「D2のP1フィルムでサンドイッチしてUL94V判定でV10レベルの耐熱弾性の特徴を持つ「ミツフクシート」、しっとりとした質感と高い弾性を持ち独自気泡で給水せずかびにくく衛生的、高弾性ながら生卵の落下試験でも割れない衝撃吸収性を併せ持つ特殊オレフィン架橋発泡体「エラスチックフ

ン」、低温域(約マイナス15度C)から中温域(約四〇度C)まで低反発弾性を実現しスポーツ保護具や介護福祉部材などが期

待される衝撃吸収の特殊EVA発泡体「コアソマ」、抵抗値六乗三乗レベルの低い抵抗の導電性ポリエチレンフォーム

会場ではエラスチック発泡した吸音断熱パネル「ダンネットハニカム」を出品。『静かさを科学する』のコンセプトで名付けた社名の通り

音、調湿、断熱、安全の環境対応材料として採用実績を増やしている。展示ではボックス状にウレタンフォームを注入した同パネルで目覚まし

芯材のフォームが振動を吸収すると説明した。同社は「ものづくり中小企業製品開発等支援補助金(試作開発等支援事業

低周波(二〇Hz以下)騒音を吸収・低減する技術でエコキュート(家庭用自然冷媒ヒートポンプ式給湯機の愛称)やコンプレッサー、エアコン、風力発電など家庭用から工業用まで幅広く応用できる。すでに東京日本高速道路との共同研究・開発で橋梁伸縮装置部(ジョイント)の防音構造を開発、関越自動車道や第三京浜道に採用され、突発騒音防止の吸音を軽量で狭小な橋梁桁下空間にも容易に設置できる構造体として特許も共同出願した。なお、同社の武蔵一経

産学公連携分野では、化学技術振興機構の全国十六ある拠点のひとつで群馬県を除く関東一都五県をエリアとするJSTイノベーションサテライ



上から弊プラ・余剰プラの減容・造粒装置の刈谷鉄工、SGJ佐藤技術士事務所、JSTイノベーションサテライト茨城の各展示小間

## 高付加価値の最新技術が 発泡素材応用から研究開発まで

生活・環境分野では、神奈川県大和市の静科がアルミニウムハニカム構造にエノールフォームや硬質ウレタンフォームを注入した同パネルで目覚まし器の振動を吸収すると説明した。同社は「ものづくり中小企業製品開発等支援補助金(試作開発等支援事業)」を受託し、橋梁伸縮装置部(ジョイント)の防音構造を開発、関越自動車道や第三京浜道に採用され、突発騒音防止の吸音を軽量で狭小な橋梁桁下空間にも容易に設置できる構造体として特許も共同出願した。なお、同社の武蔵一経産学公連携分野では、化学技術振興機構の全国十六ある拠点のひとつで群馬県を除く関東一都五県をエリアとするJSTイノベーションサテライ